

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北里大学 医学部新M号館	階数	地上6階
建設地	神奈川県相模原市南区北里一丁目411-1外48番(地名地番) 神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号(住居表示)	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,680 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,700 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年6月1日
敷地面積	8,369 m ²	作成者	株式会社日建設一級建築士事務所
建築面積	6,141 m ²	確認日	2022年6月2日
延床面積	30,628 m ²	確認者	株式会社日建設一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★☆☆ B: ★★☆☆☆ BEE=1.0 C: ★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> LED、高効率器具の採用、適切な照明制御による設備の高効率化 キャンパス内の周辺環境に配慮した外構、外装計画 外装バルコニー・テラスの一部緑化 共用部や講義室、研究室の窓面を広く確保した自然採光 	
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> LED、高効率器具の採用による消費電力の低減 エアコン、トイレ照明等の人感センサーによる照明制御 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 各階階高を4m以上確保したゆりのある空間 2回線受電および非常用発電機搭載 サービス動線と学生動線の分離
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 緑地空間を多く確保したテラス・バルコニーおよび外構計画 設備機器の目隠しとしてのバルコニー外装計画 	
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 高効率機器の採用 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水コマに加えて、擬音装置を採用 地下ピットを利用した雨水利用計画
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 建物の低層化による日影等の周辺敷地への配慮 屋上設備機器目隠しの設置による周辺計画への配慮

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される